

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 株式会社ブレースメントグループ

訓練実施施設名: 福祉のキャリアカレッジ大阪駅前校2

問合せ先住所:

〒 5 3 0 - 0 0 0 1

大阪府大阪市北区梅田一丁目3番1号 大阪駅前第一ビル10階

問合せ電話番号: 06-6455-5557

■土日祝日訓練の有無:

☐	全日あり	/	☐	一部あり	/	☐	なし
☐	あり		☐	なし	/	☐	有料
			☐	あり		☐	なし
			☐	あり		☐	なし

■法定講習に係る補講:

■相モデルによる訓練:

■合同開催による訓練:

訓練の種別	✓	実践コース (05 介護・医療・福祉分野)			就職を想定する職業・職種						
		職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	託児サービスコース	短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満)	訪問介護員、施設介護員、訪問介護事業所における サービス提供責任者						
		「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	☐ 「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入								
訓練科名	実践力で差をつける！介護福祉士実務者研修科										
募集期間(予定)	令和7年10月31日 ~ 令和7年11月20日										
選考日(予定)	令和7年12月1日										
選考方法	✓	面接		筆記試験		その他 ()					
選考結果通知日	令和7年12月8日										
訓練期間	令和7年12月25日 ~ 令和8年6月24日 (6 か月)						(訓練日数 106 日)				
訓練時間	9 時 40 分 ~ 16 時 10 分				訓練定員	25 名					
訓練対象者の条件	特になし										
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	新規学校卒業者		ニート等の若者		障害者		☐ 母子家庭の母等				
	被災者		外国人		その他 ()						
訓練目標 (仕上がり像)	介護・福祉業界従事者としての職業倫理と態度を養う。基本から高度に至る介護の知識・介護技能を習得し、基本から応用まで幅広い介護職としてのスキルを総合的に身に付ける。実務者研修に係る評価テストの合格ラインにすて達し、介護福祉士の国家試験まで対応できる力と、難病基礎課程Ⅱ及び同行援護一般課程を修了し、介護業界で即戦力となる人材を育成する。										
訓練修了後に取得 できる資格	名称 (介護福祉士実務者研修)	認定機関 (株式会社ブレースメントグループ)					任意受験				
	名称 (同行援護従業者養成研修一般課程(視覚障がい者ガイドヘルパー))	認定機関 (株式会社ブレースメントグループ)					任意受験				
	名称 (難病患者等ホームヘルパー養成研修(難病基礎課程Ⅱ))	認定機関 (株式会社ブレースメントグループ)					任意受験				
	名称 (普通救命講習Ⅱ)	認定機関 (大阪市消防局)					任意受験				
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)											
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)											
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)											
訓練内容	訓練概要	経験、未経験問わず安心して介護に従事できるよう、基礎知識から介護現場で活かせる技術を習得、体を痛めず最小限の力で介助ができる技術「ボディメカニクス」も学べます。実習にて介護職への心構えや自身に合う働き方も検討でき、新しいキャリアを築く為の就職支援も充実。障がい分野資格の「難病患者等ホームヘルパー」「同行援護従業者養成研修」、日常にも活かせる「普通救命講習」も同時修了し、幅広い支援で活躍できる力を養います。【職場見学等推進】※日によって訓練時間が異なる場合があります。									
	科目	科目の内容					訓練時間				
	入校式・オリエンテーション・修了式	入校式(1h)・オリエンテーション(3h)・実習オリエンテーション(1h)・障がい課程オリエンテーション(1h)・修了式(1h)									
	人間の尊厳と自立・社会の理解	人間の尊厳と自立、介護保険制度、社会保障制度の介護に関連する制度概要					40時間				
	介護の基本的理解とリスクマネジメント	介護福祉士の職業倫理、リスクの分析・事故防止、感染管理の安全確保					30時間				
	介護におけるコミュニケーション技術	利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術					20時間				
	介護過程の基礎知識	介護過程の目的、意義、展開の理解、情報収集、アセスメント、介護計画の見直し					45時間				
	認知症の理解	認知症の人とのかかわり・支援の基本、医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際					30時間				
	発達と老化の理解	老化に伴うからだの変化と日常生活への影響、人間の成長・老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病と留意点					30時間				
	障がいの理解	障がい福祉の理念、障がいによる生活障がい、心理・行動の特徴、障がい児や家族へのかかわり・支援の基本、医学的側面から見た障がいの理解、障がい児への支援の実際					30時間				
	介護に関わることからだの知識	食品の扱いや調理における衛生管理上の留意点・身体の構造や機能、人間の心理、移動・移乗、食事、入浴、清潔保持に関することからだのしくみ					45時間				
	医療的ケアの基礎知識	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術					62時間				
	同行援護の知識	外出保障、視覚障がい者の理解と疾病、視覚障がい者(児)の心理、視覚障がい者(児)福祉の制度とサービス、同行援護の制度、同行援護従業者の実際と職業倫理、情報提供、代筆・代読					15時間				
	普通救命の知識	基本的な心肺蘇生法、AED操作方法、窒息の対応(異物除去)、止血法、応急手当に必要な知識					1時間				
	安全衛生	安全作業、健康管理、救急処理					3時間				
	アンガーマネジメントの知識	怒りの基礎知識、怒りの性質、怒りのコントロール、怒りのマネジメント、怒りの対処法、怒りの耐性					3時間				
	難病患者等の知識	難病の基礎知識、難病患者の保険医療制度、難病患者の心理及び家族の理解・難病患者の介護の実際、難病に関する介護事例検討					6時間				
	就職支援	ジョブ・カード作成支援、履歴書・職務経歴書のパソコンでの作成方法・履歴書データや個人情報取り扱い指導・就職活動中のSNS利用時の注意点・面接の受け方について					3時間				
	生活支援の技術と環境整備	介護技術の基本(移乗、食事、入浴、排泄、レクリエーション)、福祉用具の活用による環境整備					51時間				
	介護に関わることからだの演習	介護に関係した身体の構造や機能にもとづいての演習					35時間				
	介護過程の応用	知識・技術を総合的に活用し、利用者の状況に応じた介護をするための判断力・応用力					47時間				
	医療的ケアの演習	「経管栄養(胃ろう/腸ろう)」「経鼻経管栄養」「喀痰吸引(口腔・鼻腔)」「気管カニューレ」の演習 ※シミュレータ装置による演習となります。					24時間				
	同行援護の演習	誘導の基本技術、誘導の応用技術(場面別・街歩き)、交通機関の利用					17時間				
	普通救命の演習	基本的な心肺蘇生法、AED操作方法、窒息の対応(異物除去)、止血法、応急手当					3時間				
	企業実習	☐ 実施しない	✓	実施する			63時間				
	職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】「介護職員の心構え、介護施設での働き方」「介護施設が求める人材について」					3時間				
	訓練時間総合計	606時間	学科 363時間	実技 177時間	企業実習 63時間	職場見学等 3時間					
受講者の負担する費用	教科書代	0円					合計 0円				
	その他 ()										
	備考 ()	企業実習に係る交通費と健康診断料、同行援護の演習の交通機関演習にかかる交通費、介護福祉士実務者研修の資格取得に必要な法定講習(法定時間)に係る訓練を欠席した際に行う資格取得に必要な補講費(学科)2,000円/1h(税込)、(実技)2,000円/1h(税込))は、別途発生。									
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	✓	全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する								
			オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)		オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)		時間				
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	座学講義での十分な知識と施設での企業実習等で実践的な力を身に付け、即戦力となりうる人材育成を目指す。放課後は自習室として開放(実技ビデオの閲覧も随時可能)。									
指導方法	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	介護・福祉業界で即戦力として活躍できるよう基礎から養成する。講師も専任制で、昼休み、休憩時間も質問が可能です。介護実技も受講者の要望を取り入れて行い、不安な箇所、習得に時間がかかる実技等も補講で強化。座学、実技も評価テストを取り入れて行う。									

訓練実施施設所在地地図

訓練実施施設住所: 〒 530-0001 大阪府大阪市北区梅田一丁目3番1号 大阪駅前第一ビル10階 第2教室

「大阪駅」中央出口から徒歩4分
大阪駅前第一ビル

<交通アクセス>

●地下鉄御堂筋線「梅田」徒歩5分

●地下鉄谷町線「東梅田」徒歩5分

●地下鉄四つ橋線「西梅田」徒歩1分

●JR各線「大阪」徒歩4分

●JR東西線「北新地」徒歩1分

●阪急各線「大阪梅田」徒歩8分

●阪神各線「大阪梅田」徒歩4分

●京阪電鉄「渡辺橋」徒歩5分

訓練カリキュラム(企業実習用)			
科目		科目の内容	訓練時間
訓練内容	実技	安全衛生の必要性、職場実習で行う作業の安全衛生の実践 施設の環境及び設備の保全 利用者に自ら話しかけ、コミュニケーションを図る 排泄・排尿の介護助手 食事の介護助手 レクリエーションに関連する活動への参加 福祉用具の活用による自立支援 移動・移乗に関連するからだのしくみに基づいての介助、身体介助	63時間
	その他		